

小 小 小 江 名 小
 一 小 小 永 崎 小
 二 小 小 泉 北 小
 三 小 小 泉 迎 小
 小 小 小 泉 渡 小
 小 小 小 泉 渡 小
 鹿 島 小 中 江 名 中
 小 名 浜 一 中 泉 中
 小 名 浜 二 中 泉 中
 玉 川 中 泉 中
 小 名 浜 海 星 高 校 い わ き 秀 英 学 園
 い わ き 東 警 察 署

学 警 連

編集発行 小名浜方部学校警察連絡協議会
 事務局 5 3 - 3 4 6 5

管内の児童生徒数

小学生 4,149
 中学生 1,998
 高校生 674
 計 6,821
 2024.5 現在

近年、社会は急速に変化し、その影響を受けて子どもたちの環境も大きく変わりつつあります。特に、現代の子どもたちは、リアルな世界だけでなく、ネット空間という「もう一つの世界」にも身を置いており、その中で日々の生活を送っています。顔の見えないオンラインのやり取りが容易に行える今、時には傷つけ合いや誤解を招くこともあり、物理的な距離感を超えた人間関係が日常的になっています。このような新たな環境の中で、私たち大人が担う役割は、子どもたちが安心して健やかに成長できる土台作りにあります。

昔は、子どもたちの感情や考えが外見や行動に現れることが多く、その手がかりから心の声を読み取ることができました。しかし、今日ではそれだけでは測りきれない「心の闇」や、内面的な不安や孤独感が深まっているケースが増えていることも事実です。SNSやネットコミュニケーションの普及は、逆に子どもたちの孤立感や悩みを深刻化させることもあります。だからこそ、私たちは子どもたちに「現実世界でのつながりの大切さ」を改めて伝えていく必要があります。

小名浜方部学校警察連絡協議会の皆様には、日頃から少年の健全育成活動のみならず、警察業務の各般にわたり、御理解と御協力を賜りまして御礼を申し上げます。いわき東警察署においては令和六年に入り、非行少年の数はやや減少しているものの、補導少年の数は前年と比べて大幅に増加しております。

非行少年のうち、中学・高校生の非行が約八割に上り、罪種別では万引きや自転車盗などのいわゆる初発型非行が八割近くを占めています。

罪悪感を感じることなく、単純に自分の都合のみを考えて犯罪に及んでいる状況がうかがわれます。補導少年は当暑管内の少年のみ

れない「心の闇」や、内面的な不安や孤独感が深まっているケースが増えていることも事実です。SNSやネットコミュニケーションの普及は、逆に子どもたちの孤立感や悩みを深刻化させることもあります。だからこそ、私たちは子どもたちに「現実世界でのつながりの大切さ」を改めて伝えていく必要があります。



「つながりの力で地域と子どもを守る」

学警連会長 星 輝 光
 (福島県立小名浜海星高等学校長)

このような中で、警察や地域の方々と連携し、学校と家庭、地域をつなぐ活動が小名浜地区では積極的に行われています。例えば、防犯パトロールや青少年育成活動

保護者の方々には家庭でのコミュニケーションを通じて、子どもたちが日々感じていることや悩みを自然に話せる環境を整えていただきたいと考えています。日常の些

ならず、他暑管内の少年も数多く補導されている状況であり、行方別では深夜はいかんと喫煙が全体の約七割を占めています。非行及び補導ともSNSを紹介した犯罪やトラブルが依然として後を絶ちません。

生しました。SNSの利用方法については、各校での防犯教室や情報モラル教室において犯罪に巻き込まれない適正な利用を呼びかけているところです。少子高齢化の中、少年は次代を



「次代を担う少年を守る」

いわき東警察署長 黒 澤 毅

当暑管内では、少年同士が自らの性的部位を撮影し、その画像をSNSを通じて互いに送信した児童ポルノ事件や、SNSで知り合った他県の異性と会うため、家族に無断で家を出した事案等が発

担う地域社会の宝であり、彼らが心身共に健康でたくましく成長していくことは、全ての人々の願いであります。そして、その少年たちを守り育てていくことは、私たち大人の使

細な会話から始まり、親しい人とのつながりが強まることで、ネットやSNSだけに頼るのではなく「現実世界でのつながり」を大切に育まれるでしょう。そうした支えが、子どもたちが安心して成長するための土台になります。

警察、学校、地域、家庭が力を合わせることで、「つながりの力」を発揮し、子どもたちを守る力となります。この力が、子どもたちの未来を守り、より良い社会の実現につながることを信じています。これからも、皆さまと協力しながら、子どもたちの未来を守り支える取り組みを大切に続けてまいります。

命です。少年は、周囲の環境に左右されやすい多感な一時期を、毎日悩みながら過ごしています。少年の持つ能力や可能性、また、抱えている問題も一人一人異なり、その特性に応じた接し方が求められています。

警察として、家族、地域社会、学校、警察が連携して少年の問題解決に当たり、非行少年を生まない社会環境づくりを推進して参りたいと思います。

最後に小名浜方部学校警察連絡協議会の皆様には今後も引き続き、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



「代表委員会の 取り組み」

小名浜第一小学校 6年

清水 禅
佐川 虹美



私たちが通う小名浜第一小学校には「あいさつ・返事・ことばづかい」の「小名浜一小スタンダード」という言葉があります。代表委員会ではその言葉を意識しながら活動内容を考え、行動しています。

一つ目は、朝のあいさつ活動です。登校した代表委員から担当の先生方と一緒に校門の横に立ち、登校してくる人たちにあいさつをしています。「もっとみんなが積極的にあいさつする方法はないだろうか」と考え、



「あいさつ週間」を実施し、元気なあいさつを返してくれた人たちをお昼の放送で紹介することにしました。すると、より元気な声が校舎内に響くようになり、放送で紹介しきれません。そこで、あいさつが上手にできた人たちの帽子にシールを貼ることにしました。そのシールを学年ごとに集計して「あいさつ名人」の学年を紹介します。何十枚もシールを集めたクラスもありました。朝は元気がないとなかなか声が出ません。元気なあいさつをすることで一日の気持ちも良い方

二つ目は返事やことばづかいについて、お昼の放送で代表委員が全校児童に呼びかけることです。「みなさん、暴言をはいたり、暴力をしたりしていませんか？」や「やさしい言葉づか

いをする、心もやさしくなります。」「あいさつをすると、自分も相手もやさしくなります。」など。その日の担当の代表委員が、自分の考えた言葉で全校児童に呼びかけることができました。

「笑顔のバトンの 渡辺小」

渡辺小学校 6年

大平花蓮



が豊富です。そんな豊かな自然を使った学習がたくさんあります。この学習を通して、生き物の命の尊さや自然の恵みを学ぶことができます。また、お米をつくる「田んぼの学校」やさつまいも植えなど、地域の方々に協力してもらおうような学習も多くあり、支えてくれる地域の方々のありがたさを学ぶことができます。

渡辺小学校は、二〇二四年で創立一五〇周年を迎えた学校です。そんな歴史のある渡辺小学校には、いいところが大きく三つあります。

一つ目は、自然に触れる機会がたくさんあるということです。渡辺小の周りには、山や田んぼ、かまど川などといった緑

二つ目は、文化についてです。渡辺小には、昔から継承されてきたものが多くあり、代表的なものに豊年太鼓という伝統があります。豊年太鼓の練習は、四年生から始まります。上の学年が下の学年に引き継いでいき、毎年秋頃に行われている渡辺町のお祭りでおひろめとなります。四年生から六年生の演奏は、それぞれの学年の個性が出ていて、とても美しいハーモニーを奏でます。



三つ目は、全校生の仲がとて

もよいところとあります。渡辺小は、人数の少ない学校なので、休み時間に色々な学年と一緒に遊んだり、一年生から六年生までのたてわり班でイベントに参加したりして、年の差関係なく打ち解けていきます。また、上学年は下学年に積極的に声をかけたり、あいさつなどをしたりして、相手を思いやる姿が見られる、優しさにあふれた学校になっ

私たちが六年生は、もう少しで卒業ですが、この学校の豊かな自然や、これからも続いていく文化、優しくて笑顔が似合う渡辺小のみんなを、今の五年生にバトンパスすることに何の不安もありません。温かい笑顔のバトンを渡せるように、一日一日をかみしめて残りの小学校生活を楽しんでいきたいです。

生活向上委員として目指すこと

小名浜第二中学校 3年
殿原 奈緒子



私は小名浜第二中学校で生活向上委員会の委員長を務めています。生活向上委員会は各学級の代表四名から構成され、全員で四十名で活動しています。私たちの活動を三つ紹介したいと思います。

まず一つ目は、毎朝行うあいさつ運動です。あいさつ運動は生徒会と先生と一緒に活動していて、生徒のみなさんや学校全体で明るく、元気な一日を送ってほしい、という気持ちを込め

ています。あいさつ運動をする中でまずは、私たちから率先して明るい気持ちのいいあいさつをすることを心がけています。言葉一つ一つが人とのつながりであり、これから生きていくうえでも大切なことだとあいさつ運動を通して感じました。そして、朝から活気のある小名浜二中を目指しています。

次に、毎週週末に一週間の反省をしています。これは、まず各学年で一週間の学校生活の振り返りをし、その後、各学年代表者で反省と改善点を振り返り、来週の課題を決め、課題意識をもって活動し、より良い学校生活になるよう反省を行っています。さらに、反省と課題点を私たち生活向上委員だけでなく、放送をして全校生徒も意識を高め、生活してもらおうようにしています。

三つ目は、二分前着席の呼びかけです。授業の開始二分前に着席をすることで時間に余裕をもち、時計を見て自分たちで行動し、「時間を守る」ということを日々の生活を送る中で、生活向上委員会を中心に各クラスで呼びかけをしています。また、小名浜二中では、二分前着席だけでなく、始業のチャイムで黙想

をしています。黙想をすることにより、休み時間から授業へのメリハリをつけ、気持ちを切り替えて授業に臨むことができていると思います。

私たち生活向上委員は、日々小名浜二中をより良くするため活動しています。また、活動する中で私たちは各クラスの代表であることを忘れずに、さらに生活を向上していきたいと思っています。

「第2回海桜祭」

小名浜海星高校 3年
山本 佑 晴

小名浜海星高校は、今年で統合して四年目になります。今年行いました。

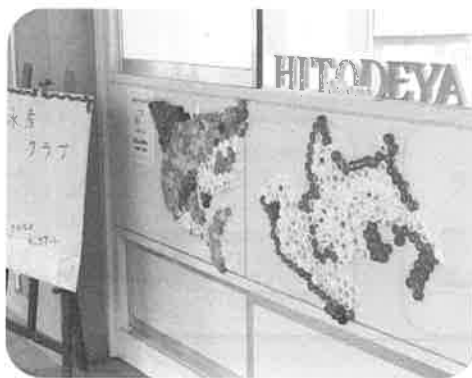
文化祭の名称は、「海桜祭」といいます。

この名称は、先輩方が、旧小名浜高校の「武城坂」の桜並木と、旧いわき海星高校の学びの場である「海」、二つの学校の象徴を合わせて名づけたもので

す。とても素敵な名称だと思います。読み方が浸透していいので、ここでアピールしたいと思います。「さんごさい」と読みます。以後お見知りおきください。

さて、今回の海桜祭では、より多くの方々に来場していただき、本校の魅力を伝えたいと思いました。そして、「海星アクアフエス」というテーマのもと、「水」「海」に親んでもらおうと、様々な企画を考えました。たとえば、校舎内を巡る謎解きゲーム企画では、本校生徒の魚に関する知識を生かした問題を出題しました。また、謎解きをやるにはまだ小さいお子さんのために、一階フロアを中心にスタンプラリーを設置し、海にちなんだ苗字のハンコを準備しました。

装飾にも本校ならではの工夫をしました。校門の横断幕の柱には、海中のようすをイメージした看板を制作し、校内は「サング」をイメージした花紙の装飾を施しました。



海桜祭当日は晴天に恵まれ、二千人を超えるみなさんにご来場いただきました。少しでも、小名浜の海や海洋生物に親しみ、さらに興味関心を持ってもらえたら幸いです。

私の任期はまもなく終わりますが、後輩たちには、これからも小名浜海星高校での学びを生かし、小名浜地区の発展に貢献できるよう、様々な活動を行ってほしいと思います。そして、第三回以降の海桜祭にも、たくさんの方々に足を運んでいただけることを願っています。



いつでもどこでも

自転車の盗難を防ぐには

2ロック

ツーロック



- ・わずかな時間でも必ずロック!
- ・自宅や学校でも2ロック!
- ・構造が違う2種類の鍵をかけて!



プレス錠

U字ロック

ワイヤー錠



いわき東警察署より

インターネットを利用したトラブルが多く発生しており、その当事者も低年齢化が進んでいます。

当署管内でも、児童の裸の画像を送信させ、さらにその画像を他の人たちへ転送したことやSNSで特定の人を中傷する書き込みをしたこと等が発生しています。

インターネット内に流出した画像等は簡単に消去することはできません。

このような犯罪に巻き込まれないため、福島県警が推進している「スマホの約束6か条〜あとがこわい」を心がけてください。

万引きは、

しない!
させない!
犯罪見逃さない!



◆「あとがこわい」

スマホの約束6か条

～スマートフォンを利用して～

- あ **会わないで!** (知らない人と)
- と **撮らないで!** (自分の裸を)
- が **画像を送らないで!**
- こ **個人情報を載せないで!**
- わ **悪口を書き込まないで!**
- い **いじめないで!** (ネットを使って)

電子マネーを悪用した

なりはまし詐欺が多発!

パソコンのウイルス感染に関する請求

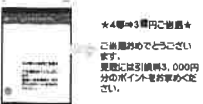


携帯料金やサイトの未納料金に関する請求



これらの事例は全て詐欺!!! ご注意ください!!!

高額当選の受取手数料代



★4等⇒3等内に当選★
ご希望の金額までどうぞ!
※当選額は引換額3,000円分のポイントが最大です。

その他、身に覚えのない支払いを電子マネーで請求されている

- ・官公庁から税金未納の請求
- ・コロナ給付金の受取手数料
- ・何回も電子マネーでの支払いを請求されている

など

あなたの心がザワザワしたら

あなたは悪くありません。

このような被害にあったら信頼できる大人に相談しましょう。

